

研修医
サバドルライブ!
11/9(火) 第1弾 ER編
23:59まで 無料公開中

COVID-19
新型コロナウイルス
関連情報

医療・医薬についてのお問い合わせ

アンケートに答える

～1000pt

デイリークエスト 2up
医業承継サイトを確保

デイリークエスト 2up
Doctors' Picksにアクセス
(1日1回まで)

eディテレーリング
スタンプを確認

ケアネット会員限定!
会員特典

本日の臨床〇×クイズ

大動脈弁狭窄症では左室にかかる前負荷が上昇する。

クイズに答えて
アップを獲得する

人気記事ランキング

週間 月間

コロナワクチンの追加接種の見通し／厚労省医療一般

コロナ関連のメディア出演で医師らが脅迫や中傷の標的に医療一般

ファイザー製ワクチン後、4か月と6か月で効果の差は？／NEJMジャーナル四天王

インフルエンザとCOVID-19の相違点と類似点—AHAニュース医療一般

わいせつ裁判で逆転有罪の医師、来年上告審弁論へ。性犯罪厳罰...ざわつく水曜日

コロナ感染者とベッドが同じでも非感染なのはなぜ？国際研究発表バイオの火曜日

今年のインフル流行は

エンレスト錠
Entresto Tablets
Otsuka

4週に1回の投与で片頭痛発作を予防する「アイモビーグ皮下注70mgペン」【下平博士のDIノート】第85回

公開日：2021/11/02

企画・制作 ケアネット

インデックスページへ戻る

注目の新薬の特徴や使用上の注意などを、薬局薬剤師の目線でコンパクトに解説します。添付文書改訂については、現場でとくに重要になる改訂のポイントを下平博士が厳選して紹介します。薬剤情報のアップデートにお役立てください。



4週に1回の投与で片頭痛発作を予防する「アイモビーグ皮下注70mgペン」

今回は、ヒト抗CGRP受容体モノクローナル抗体製剤「エレスマブ（遺伝子組換え）（商品名：アイモビーグ皮下注70mgペン、製造販売元：アムジェン）」を紹介します。本剤は、4週間に1回の投与で、片頭痛発作の発症を抑制することが期待されています。

<効能・効果>

本剤は、片頭痛発作の発症抑制の適応で、2021年6月23日に承認され、8月12日に発売されました。

片頭痛発作の前兆の有無にかかわらず月に複数回以上発現している、または慢性片頭痛であることを確認したうえで本剤の適用を考慮します。なお、非薬物療法、片頭痛発作の急性期治療などを適切に行っても日常生活に支障を来している患者にのみ投与できます。

<用法・用量>

通常、成人にはエレスマブ（遺伝子組換え）として70mgを4週間に1回皮下投与します。

なお、本剤投与開始後3か月が経過しても症状の改善が認められない場合や、頭痛発作発現の消失・軽減などにより日常生活に支障を来さなくなった場合は、本剤の投与中止を考慮します。

<安全性>

片頭痛患者を対象とした国内第Ⅲ相試験において、副作用はプラセボ群で3.1%（4/131例）、本剤投与群で8.5%（11/130例）が認められました。主な副作用は、便秘、注射部位反応（紅斑、そう痒感、疼痛、腫脹など）、傾眠などでした。

なお、重大な副作用として、発疹、血管浮腫およびアナフィラキシーを含む重篤な過敏症反応と重篤な合併症（腸閉塞、糞塊、腹部膨満およびイレウスなど）を伴う便秘が海外で報告されています。

<患者さんへの指導例>

1. この薬は、片頭痛に関与するとされる神経ペプチドの受容体をブロックすることで、片頭痛発作の発現を予防します。

Medical Gateway

情報チェックでアップ獲得チャンス

Web 講演会

eディテレーリング

4分で解説！手術後疼痛に対する薬物療法の選択肢としてのセレ...

03:47
100up

CELECOX PRO
第2弾 手術後疼痛

新生児期～乳幼児期に筋緊張低下や発達遅延がみられる症例、様...

06:30
100up

新生児期～乳幼児期に筋緊張低下や発達遅延がみられる症例、様子をみていませんか？

低用量アスピリン投与時における潰瘍再発抑制の重要性_JCS-GL...

1ページ
未視聴

低用量アスピリン投与時における潰瘍再発抑制の重要性～JCS-GLNを踏まえて～

高齢者に対するジャヌビア(R)のデータ

02:25
100up

ジャヌビア
高齢者に対するジャヌビア®のデータ

第11回 エクメット Chietter - 糖尿病性神経障害の発症・進行...

07:19
100up

エクメット Chietter
糖尿病性神経障害の発症・進行を抑えるポイント

CKDと心不全パндеミック 監修：東邦大学医療センター大橋...

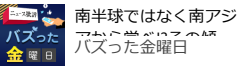
06:18
100up

CKDと心不全パндеミック

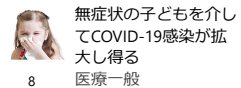
もっと見る

おすすめ期間中のすべてのeディテレーリングを視聴するとコンプアップ20upが獲得可能！

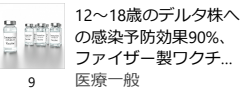
まだコンプアップを獲得できません



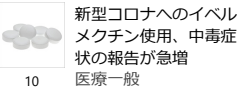
7



8



9



10

医師閲覧ランキング



2. 発熱、発疹、まぶたや口唇周囲の腫れ、呼吸困難など、アナフィラキシーが疑われる症状が現れた場合は、すぐに報告・受診してください。注射後1週間以上経過してから発現することもあります。
3. 注射した部位に、赤み、かゆみ、痛み、腫れなどの症状が現れることがあります。これらの症状が長引く場合は、ご相談ください。
4. お薬のせいで眠くなることがあります。車の運転や機械の操作、高所での作業などを行う場合はご注意ください。
5. 本剤の使用に、血圧が上昇したり高血圧が悪化したりすることがあります。自宅で血圧計を用いるなど、血圧の変動に注意してください。
6. まれに重い便秘症状が現れることがあります。とくに初回投与後は便通の変化に注意し、便秘症状が続く場合には早めにご連絡ください。

<Shimo's eyes>

片頭痛が起きる成因而として、三叉神経から放出された神経ペプチドであるCGRPがCGRP受容体に結合することで、血管が過度に拡張して炎症が波及して片頭痛発作が起こるとい説が有力です。予防にはロメリジン、バルプロ酸、プロプラノロール、アミトリプチリン、ペラパミルなどが用いられています。効果を得られない患者も少なくありませんでしたが、抗体医薬品が登場したことにより、片頭痛の治療選択肢が広がりました。



本剤は、世界で初めて承認されたカルシトニン遺伝子関連ペプチド（CGRP）関連の抗体医薬品であり、わが国では2021年4月にガルカネズマブ（商品名：エムガルティ）、同年8月にフレマネズマブ（同：アジョビ）が発売されました。この2剤はCGRPに結合して活性を阻害しますが、本剤はCGRPの受容体に直接作用し、CGRPの結合を防いでシグナル伝達を阻害します。

CGRP関連薬剤は4週間に1度（フレマネズマブは4週間に1度あるいは12週間に1度）の皮下投与で予防効果を発揮します。なお、すでに発現している片頭痛発作を緩解する薬剤ではないため、本剤投与中に発作が発現した場合には、必要に応じてトリプタンなどの急性期治療薬を使用します。

本剤の注射針カバーは天然ゴム（ラテックス）を含み、アレルギー反応を起こす恐れがあるため、投与に際してはアレルギー歴の確認が必要です。デバイスはオートインジェクターであり、外箱を冷蔵庫から取り出し、30分以上待って室温に戻してから使用します。現状は自己注射が認められておらず、原則として外来受診時の投与となります。

主な副作用として、便秘、注射部位反応、傾眠などが報告されています。便秘の既往歴を有する患者および消化管運動低下を伴う薬剤を併用している患者では発現リスクが高くなる恐れがあるので注意が必要です。

参考

- 1) PMDA 添付文書 アイモビーグ皮下注70mgペン

ページTOPへ

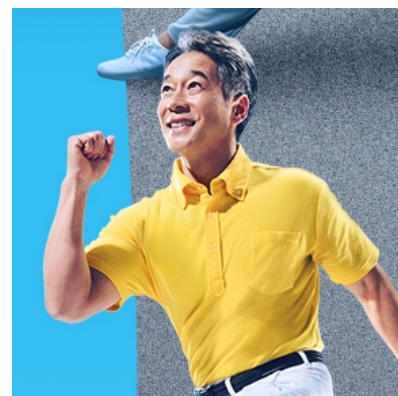
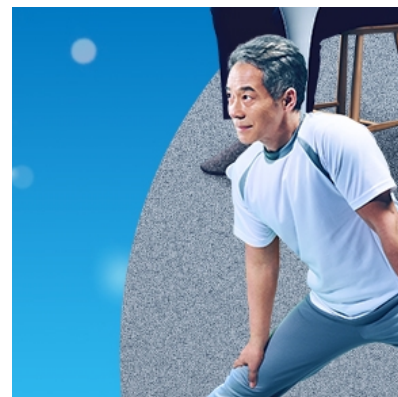


下平 秀夫（しもだいら ひでお）氏

帝京大学薬学部教授

[略歴]

薬剤師、博士(薬学)。1957年長野県出身、東京薬科大学卒業後、株式会社八王子薬剤センター次長、東京薬科大学客員助教授を経て2007年から現職。帝京大学薬学部で薬局管理学、実務薬学について教鞭を執る傍ら、株式会社ファーマックでは現役薬剤師として従事。株式会社ファーマック専務取締役、医薬品情報専門薬剤師、国立市薬剤師会会長、東京都薬剤師会編集委員長。ファーマックでは新薬情報をわかりやすく紹介するwebサイト「薬局薬剤師のためのお薬情報」の運営も行っている。



バックナンバー

第85回 4週に1回の投与で片頭痛発作を予防する「アイモビーグ皮下注70mgペン」

NEW

第84回 国内2剤目の軽症～中等症COVID-19治療薬「ゼビュディ点滴静注液 500mg」

第83回 添付文書改訂：フォシーガにCKD追加／エンレストに高血圧症追加／リンヴォックにJAK阻害薬初の間節症性乾癬追加／リオナに鉄欠乏性貧血追加／ロナセンに小児適応追加

第82回 ミトコンドリアを介する新規作用機序の2型糖尿病治療薬「ツイミーグ錠 500mg」

第81回 個別に投与量を設定するFSH製剤「レコベル皮下注12μg/36μg/72μgペン」

先頭 前 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 ... 次 最終

[インデックスページへ戻る](#)

[ページTOPへ](#)

関連記事

片頭痛発作の発症抑制薬、アイモビーグ皮下注発売／アムジェン

医療一般（2021/08/18）

片頭痛発作を抑制する2つの新抗体製剤が承認取得

医療一般（2021/06/26）

掲載内容はケアネットの見解を述べるものではありません。（すべての写真・図表等の無断転載を禁じます。）
本コンテンツに関する下記情報は掲載当時のものです。
[データ、掲載内容、出演/監修者等の所属先や肩書、提供先の企業/団体名やリンクなど]



視聴されていないコンテンツがあります

Doctors' Picks
論文多すぎ...
**がん専門医に必要な
情報をお届け**

5分でチェック。今注目のニュース

**Dr.増井の
心電図
ハンティング
2**

失神・不整脈編
番組視聴はコチラ

知人医師紹介キャンペーン

**1,000pt
プレゼント**

**カンタンに
紹介できます!**